

## ■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 光だになき山里に、まして人の訪ふべくもあらず。
- ② せめて一目だに見てしがな。
- ③ 水だに飲ませず、いと心なきわぎなり。
- ④ 影だに見えば、慰むこともありなまし。
- ⑤ 聖人すら過ちはあり、いはんや凡人をや。
- ⑥ 鳥の声すら聞こえぬ深山に分け入りぬ。
- ⑦ 風吹けば、波さへ立ちて舟出でがたし。
- ⑧ 雨降り、風さへ添ひて、いとわびし。
- ⑨ 親に別れ、家さへ焼けて、寄る方もなし。
- ⑩ ただ月のみぞ昔ながらの光なりける。
- ⑪ この子のみぞ、人にすぐれてかしこかりける。
- ⑫ 三日ばかりありて、文おこせたり。
- ⑬ 涙にくれて、ものも言はれずばかりなり。
- ⑭ 花など散るころは、心ぼそくこそおぼゆれ。
- ⑮ 名をだに知らぬ草の、思ひのほかに咲きにけり。
- ⑯ 今しも、月のいと明かきに出でぬ。

## ■ 設問 (全23問)

1. 例文①の傍線部「だに」の意味として最も適切なものを、次から選べ。  
ア 類推 (～さえ) イ 最小限の限定 (せめて～だけでも) ウ 添加 (～までも)
2. 例文②の傍線部「だに」の意味を、ア～ウから選べ (選択肢は問1と同じ)。
3. 例文③の傍線部「だに」の意味を、ア～ウから選べ。
4. 例文④の傍線部「だに」の意味を、ア～ウから選べ。
5. 例文⑤の傍線部「すら」の意味として最も適切なものを、ア～ウから選べ。
6. 例文⑤の「すら」と呼応して、下に省略されている言い回し (…をやの形) を補い、文意を説明せよ。
7. 例文⑥の傍線部「すら」の意味を、ア～ウから選べ。
8. 例文⑦の傍線部「さへ」の意味として最も適切なものを、ア～ウから選べ。
9. 例文⑧の傍線部「さへ」の意味を、ア～ウから選べ。
10. 例文⑨の傍線部「さへ」の意味を、ア～ウから選べ。
11. 例文⑩の傍線部「のみ」の意味として最も適切なものを、次から選べ。  
ア 限定 (～だけ) イ 程度 ウ 例示
12. 例文⑪の傍線部「のみ」の意味を、問11のア～ウから選べ。
13. 例文⑫の傍線部「ばかり」の意味として最も適切なものを、次から選べ。

ア 限定（～だけ） イ 程度・おおよそ ウ 添加

14. 例文⑬の傍線部「ばかり」の意味を、問13のア～ウから選べ。

15. 例文⑭の傍線部「など」の意味として最も適切なものを、次から選べ。

ア 強意 イ 例示・婉曲 ウ 限定

16. 例文⑮の傍線部「だに」の意味を、ア～ウから選べ。

17. 例文⑯の傍線部「しも」の意味として最も適切なものを、次から選べ。

ア 強意 イ 例示 ウ 添加

18. 例文①～④・⑮の「だに」のうち、「最小限の限定（せめて～だけでも）」の用法であるものをすべて番号で答えよ。

19. 「だに・すら・さへ」のうち、現代語の「さえ（類推）」と同じ意味を表すのはどれか。あてはまるものをすべて挙げよ。

20. 次の傍線部を、それぞれ現代語訳せよ。

(1) 光だになき山里（例文①）

(2) せめて一目だに見てしがな（例文②）

21. 次の傍線部を、それぞれ現代語訳せよ。

(1) 聖人すら過ちはあり（例文⑤）

(2) 波さへ立ちて（例文⑦）

22. 「だに」が「最小限の限定（せめて～だけでも）」の意味になるとき、文末にはどのような表現（願望・命令・意志・仮定など）が来やすいか。例文②④を参考に説明せよ。

23. 記述：「だに」と「さへ」は、ともに何かを「付け加える」ように見えて意味が異なる。両者の違いを、「類推」「添加」という語を用いて一文で説明せよ。